



北野の風

岡崎市立北野小学校 令和3年度 学校通信 No.6 【11月5日】

船は揺れる。網は重い。だからこそ踏ん張る。

だからこそ、声を出して自分を鼓舞する。 ～ 北野小学校運動会 ～

北野小学校長 丹羽 郁人

素敵な、素敵な運動会でした。
私たちは、忘れかけていたかもしれません。子供たちは、こんなに元気で、こんなにエネルギーに満ち溢れていることを。

子供たちの表情が見えます。子供たちの声が聞こえます。子供たちのエネルギーが、沸き立つ思いが、ひしひしと伝わってきます。

一・二年生の子。元気いっぱい「きたのキッズ」でした。音楽にのって、楽しそうに、とても元気に体を動かしていました。体を動かすことってこんなに楽しいんですね。頑張りました。

三・四年生の子。かっこいい「ダンシングヒーロー」でした。エグザイルかと思いましたよ。振り上げる旗の音が、みんなの力強さを示していました。かっこよかったです。

さて、五・六年生の子の踊った「莊演舞」は、北海道の民謡「ソーラン節」がもとになっています。

北海道はまわりが海に囲まれ、魚が、とりわけニシンという魚がたくさん取れます。漁師が、船に乗って、大きな網でニシンを引き上げる。その時に生まれた歌が、「ソーラン節」です。

北海道の海は冷たい。

風は強い。

船は揺れる。

網は重い。

だから、だから踏ん張る。

だから、だから、大声を出して自分を鼓舞する。

五・六年生は見事にそれを表現しました。お見事です。

私たちは、忘れかけていたかもしれません。子供たちは、こんなに元気で、こんなにエネルギーに満ち溢れていることを。

子供たちの表情が見えました。子供たちの声が聞こえました。子供たちのエネルギーが、沸き立つ思いが、ひしひしと伝わってきました。

素敵な、素敵な運動会でした。





ダンスでビシッと

三年六組 松本 龍

ぼくが運動会でがんばったことは、ダンスでビシッと止まることです。理由は、みんなと動きを合わせないといけないからです。はじめはきんちょうしたけど、お客さんのために一生けん命おどりました。

おどりが終わったら、お客さんたちははく手をくれました。さ来年は、今年よりももっとうまくなりたいです。リレーは風に負けず走り切りました。

全力で走ってゴールまで目ざしました。みんながゴールをしてうれしかったです。

十一月のさい後にはじきゆう走大会があるから、全力でがんばって走り切ります。



優勝することができた運動会

四年二組 渡邊 蘭心

わたしは、運動会でリレーをとくにがんばりました。チームが負けないようにできるだけがんばりました。ゆうしようしたと分かったときはすごくうれしくて、友達とよろこび合いました。

ダンスは四年生のパートがむずかしくて、最初は分かりませんでした。しかし、友達とおどりをかくにんして何回も練習しました。本番では、手をのぼすこ

とに気をつけて、練習どおりおどることできて、うれしかったです。リレーもダンスも上手くいって、とてもうれしかったです。



頑張った運動会

五年一組 蟹 奏太

十月二十三日に最後の運動会がありました。運動会ではリレーや踊りでGANKOとソーラン節を踊りました。

リレーでは休み時間などを使って、みんなで作戦会議をしました。そして何回も練習をして、本番ではみんなで力を合わせて走りました。

そして踊りは、九月の分散登校で、クラスの半分しかない状態から練習が始



まりました。それで毎日練習を続け、本番でかっこいい荘演舞を見せることができました。来年はもう運動会がないので、心に残る運動会が行えてよかったです。

二〇五人の荘演舞！

六年三組 本田 彩華

最後の運動会にむけて私は、踊りもリレーも悔いの残らないように毎日練習に励みました。特に、演舞は、見ている全ての人たちを感動させられるように頑張りました。

ソーランは踊りながら声を出すのでとても大変でしたが、限界を超えるまで声を出し、腰を落として踊ることができました。

GANKOは指先まで意識してかっこよく踊ることができたと思います。演舞を終えた後、たくさんの人の拍手が聞こえ、頑張ってきたよかったです。思いました。

中学校に行っても、たくさんの人の心に残るような競技や演舞ができるように頑張ります。



委員会活動 頑張っています

代表委員長 竹内 雄星

ぼくたち代表委員は、委員会の時間に話し合い、優しく思いやりのある学校を目指すことに決めました。思いやりがあると、みんなが気持ちよく学校生活を送ることができます。そんな学校にするために、まずは北野小学校のみんなが元気な「あいさつ」をできるように働きかけていきたいです。

普段の生活の中であいさつをする機会はたくさんあります。そして、友達や先生、色々な人とあいさつを通してかかわりをもつことが、人を思いやることの始まりだと考えます。しかし、登下校やろう下ですれ違うときに、あいさつが小さいときがあります。またあいさつは礼儀にもかかわりません。いつも様々な面で助けてくださる地域の方にも、礼儀正しいあいさつで感謝の気持ちを伝えることが大切です。

だから代表委員会のみんなで協力し、あいさつの声があちこちから聞こえる学校にして、思いやりのある学校にしていきたいです。ぼく自身もみんなの目本となるためにあいさつをしつかりしたり、困っている人を助けたりして思いやりのある人になれるように意識していきます。



全校児童の前で準備体操【運動委員会】



朝一番に落ち葉を掃除【美化委員会】



なかよしタイムに本の貸し出し【図書委員会】

後期各委員会委員長

代表	竹内 雄星
ボランティア	三浦 羽優里
保健	山内 リリアン
運動	関口 美虹
給食	出納 涼太
図書	石原 凜花
放送	北田 憲靖
美化	山田 蒼依
緑化	高柳 美沙

後期学級代表

五年一組	内田 琶子	蟹 奏太
五年二組	鈴木 美優	中垣 柚吾
五年三組	権田 心春	矢田 永遠
六年一組	大久保晃介	坂下 恵麻
六年二組	上山 愛恵	竹内 雄星
六年三組	友利 大樹	山本 桜生

表彰の記録

「家庭の日」啓発ポスター 優秀賞	三年 穴井 陽菜乃
市家庭科作品展 入選	六年 坂下 恵麻
五年	浅野健太郎
五年	植松 愛里
前村 幸美	岡本 三桜
松下希美花	三浦羽優里
笹原 雛奈	関口 美虹
六年	坂下 恵麻
五年	浅野健太郎
植松 愛里	蟹 奏太
岡本 三桜	中垣 柚吾
前村 幸美	佐藤 里穂

